

協働・共感で響きあう  
まちづくりをLEADする  
京丹後市商工会

京丹後市 Kytango City Society of Commerce & Industry

# 商工会だより

2023

1月号

vol.182



京丹後市商工会 〒627-0012 京都府京丹後市峰山町杉谷836-1

●TEL.0772-62-0342 ●FAX.0772-62-3553 ●URL: https://kyotango.kyoto-fsci.or.jp

●網野支所/TEL.72-1863 ●大宮支所/TEL.68-0038 ●丹後支所/TEL.75-2222 ●久美浜支所/TEL.82-0155 ●弥栄支所/TEL.65-3137(火・金のみ)



## 皆様へ寄り添う 商工会であり続ける一年に

京丹後市商工会長 行待佳平



会員の皆様、並びに関係者の皆様、あけましておめでとうございます。旧年中は商工会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。コロナ禍脱却に向け経済活動を再開しているなか、ロシアのウクライナ侵攻等によるエネルギー供給への懸念の高まりから、電気、燃料をはじめ様々なモノの価格が高騰し、先行きへの不

透明感が強まり、中小・小規模事業者を取り巻く環境は益々厳しさを増しています。そのような中、昨年、本会では、コロナ禍での事業継続支援を中心に事業復活支援金をはじめ、国や府、市の補助金・給付金等施策支援、融資等の支援に加え、創業者支援についても積極的に行いました。

10月には当会自らが主体となつて、2回目となる「新商品・新サービス等合同記者発表会」を与野町商工会と合同で実施し、事業者が有している経営資源を広めるチャンスを提供するといった新たな需要の開拓

支援を、丹後地域一体となつて行うことができました。また、同月には、感染対策等による規制がある中で、3年ぶり14回目となる「京丹後商工祭」を開催することができ、市内経済の再活動に寄与することができました。

一方で、地域産業の将来起りうる問題や課題を見据えて、今後の経済活動への影響や商工会自身のあり方など、地域全体の将来像を創造し、進むべき方向性について検討する「将来ビジョン検討委員会」を立ち上げ、将来、必要となる知識や人材等を育成することにも取り組み始めました。

しかしながら、直近の懸念材料として、コロナ関連融資の据置期間満了に伴う資金繰り悪化や、物価高騰による採算悪化、後継者不在及び廃業の増加など、多くの課題も山積しており、ますます伴走支援が重要不可欠となつてきております。

そこで、当会では、事業の再



生支援のニーズに備え「金融・経営一体型支援体制強化事業」に積極的に取り組み、元金返済開始がピークを迎える本年は、より一層金融機関との連携体制を強化した支援を行うとともに、事業継続のための経営基盤安定支援、経営体質の改善、新たなチャレンジへの支援など、経営支援の質を高めることに注力し、支援を行つてまいります。

あけましておめでとうございます。



京丹後市長 中山 泰

## 幸せ、豊かさは日常の中にある。感謝と共に豊かさ育むまちづくり

市民の皆様には令和5年の新春をすこやかに迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。昨年は、コロナの影響が引き続き中、市民の皆様健康と生活、事業・産業をしっかりと支え守る取組みと共に、コロナ禍からの再生・復興、そして未来に希望の持てる、豊かさ笑顔あふれるまちづくりに各般の取組みを重ねてまいりました。

身近な生活環境の維持充実のため、2次に及ぶ独自の諸物価高騰対策への着手、地域密着の小規模公共事業の重点推進、たすけあい経済推進のための協働労働や新たな地域コミュニティ活力づくりなど「生活の安全・安心をとことんつくる」取組みに、現在・継続的に、全力進行中です。

昨年は、デジタル化が進む中でテレワークを進めるモデル事業や、循環型経済を広げる京丹後デジタルポイントの創設、「食品加工支援センター」のオープン、ANAや新たにピーチ航空との連携と共に、まちづくりを支える宮パイバス、木津パイパス、野中パイパス等幹線道路の供用開始、山陰近畿自動車道整備の一層の加速化に向けた取組みなども実現し、今後とも、デジタル化をプラスに取り込んだ経済基盤づくりに着実に取り組んでいきます。

その中で「こともたちを豊かに育み、若者をしっかりと支える」取組みこそ、今後ますます

重要です。昨年は、200円学校給食の着手や全国最大級の画期的な奨学金返済支援スタート、子育て世代の住宅確保補助や出産祝い・支援給付、また、公立中学校では全国初のAIを活用した英語教育、海外大学等と連携した人材育成事業、高校生・若者の起業プランコンテストや高校生の「丹後万博」企画運営などを支援推進し、引き続き子育て支援、こどもや若者の希望や志・夢を支え育む取組み、全力で支援してまいります。

ウクライナ侵攻はなお終結せず、一日も早い平和の回復を心から念じています。同時に振り返って、当たり前のように思いがちだった日々の平和、平穏な日常がいかに貴重で大切か、改めて実感させられます。幸せ、豊かさは日常の中にある。気づきと感謝、それと隣り合わせ。日々、気づかないだけで周りは360度、宝と宝の原石にあふれています。遭遇する困難や課題の中にさえ既に解決策のタネが確かに秘められています。感謝してそれを見出し、たすけ合つて磨いていく。SDGsやウェルビーイングなど時代潮流のその源流も、日常の中から一滴一滴と湧いてきます。本市は安全安心、いのち・健康、豊かな自然環境、人と人との温かいつながり・絆など時代潮流の源流につながる価値観や資源の宝庫です。京丹後にあふれる新時代の豊かさ実現に向け、商工会の皆様、市民の皆様と共に歩みを進めてまいります。

本年が市民の皆様にとつてますます喜びの多い豊かな年であり、ますます心からお祈り申し上げます。新春のごあいさつとさせていただきます。

## 「あたたかい京都づくり」へ邁進

京都府知事 西脇隆俊



あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスとの闘いも三年になろうとしています。長きにわたり感染防止対策に取り組んでいただいている皆さま、そして、医療従事者をはじめ関係の皆さまに、心から感謝と敬意を表します。

昨年、新型コロナウイルスの拡大に加え、ロシアによるウクライナ侵攻や世界的な物価高、さらに記録的な円安などに見舞われ、今も社会生活への甚大な影響が続いています。こうした情勢の中、でも安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「あたたかい京都づくり」を進めていくことを決意し、総合計画を一年前倒しして改定しました。同計画に基づく施策を令和五年度当初予算に盛り込みます。

「時が物事を変えようと人は言うが、実際は自分で変えねばならない」They always say that

time changes things, but you actually have to change them yourself。これは米国の芸術家アンディ・ウォーホルの言葉です。今年三月、いよいよ文化庁が京都で業務を開始し、明治維新以来初の中央省庁移転が実現することとなりました。彼が言うように、この歴史的な出来事が私たちに何をもちたらずかではなく、私たちがこの機会をどう活かしていくかが問われます。「文化の都・京都」の実現に向け、国と地方が連携して日本各地の文化に光を当て、世界へ発信し、ここ京都から新たな文化の潮流を起したいと考えています。

この他、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、子育て環境日本一の取り組みを進化させてまいります。また、京都

の強みである大学の「知」と学生の「力」を積極的に地域や企業に取り入れ、京都の活力を生み出してまいります。そして新名神高速道路開通や、大阪・関西万博開催などの好機を活かし、京都の発展に取り組んでまいります。

